

平成25年度こうちふるさと寄附金活用事業(実績)

◇ 平成24年度に頂きました267件、28,947,986円のご寄附は、下記の平成25年度の事業(4分野11事業)に活用させていただきました。

<分野1 こうちの「山」「川」「海」の環境を守り育てる>

○清流保全計画指標モニタリング事業(650千円)

物部川と仁淀川の本流及び支流において水質調査を実施しました。この調査で、物部川及び仁淀川の清流保全の取り組みの達成状況を把握する指標を収集しました。今後、その指標を小学校の環境学習等に役立てていきます。



○清流基準モニタリング事業(474千円)

四万十川の清流保全のためのモニタリング調査を実施しました。四万十川流域住民の皆さんに調査のご協力をいただくことで、清流を守ろうとする意識啓発に繋がりました。



○環境美化推進事業(773千円)

2月の県民一斉美化活動など県内各地で美化活動を実施するとともに、啓発用ポスターを協力企業などの事業場や公共施設などに掲示しました。

○環境活動支援センター事業(5,920千円)

県民の環境活動や環境学習に対する支援を行うことで、環境にやさしいライフスタイルの輪を広げるとともに、県内小学校児童を対象とした「環境絵日記コンテスト」の実施や環境月間(6月)におけるロビー展の開催などによる、県内の地球温暖化防止に向けた普及啓発に取り組みました。



<分野2 ふるさとの文化と子どもたちを守り育てる>

○交通安全子どもセンター運営事業(1,000千円)

交通安全子どもセンターにおいて、老朽化したゴーカートを更新しました。平成25年10月に配車されて以降、交通知識や交通道德の体得など、子ども達の交通安全教育に寄与しています。



○ふるさと教育推進事業(1,733千円)

郷土の偉人や歴史などの学習や、ボランティア体験活動などの実施に対して支援を行いました。その他、坂本龍馬について学ぶ学習教材を県内の小学5・6年生へ配布するとともに、「龍馬検定」の小学生版を実施し、坂本龍馬に関する知識・関心を高めました。



○全日制高等学校運営費(868千円)

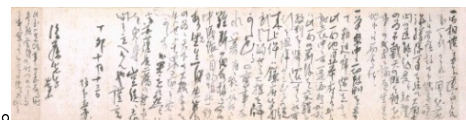
中村高等学校の古くなった楽器を新たに購入しました。学校内の行事に留まらず、地域に根ざした演奏などでも頼りにされている同校の音楽部の楽器が更新されたことで、様々な行事やコンクールに対する生徒の意欲向上や積極的な取り組みなどに繋がりました。

<分野3 龍馬がふるさと「高知」を盛り上げる>

○高知県文化基金操出金事業(2,603千円)

大政奉還前日の緊迫した状況の中で書かれた坂本龍馬直筆の書簡「坂本龍馬書簡草稿」の購入に充てました。書簡は今後の歴史研究に役立てられるとともに県立坂本龍馬記念館で展示され、坂本龍馬の更なる魅力発信に繋がりました。

坂本龍馬書簡草稿
(後藤象二郎宛1867年10月13日)



<分野4 元気あふれるこうちをつくる>

○自主防災活動促進事業(4,209千円)

自主防災組織のリーダーとなる方を対象とする活動の活性化、持続的な運営及び防災に関する知識や技能のレベルアップなどを図る研修会や、実践的な防災訓練の研修会を実施しました。また、自主防災組織が自主防災活動を行っていくうえでの課題に対する事例や活動の参考となるよう、自主防災活動事例集を作成・配布しました。



○母子保健事業(424千円)

周産期医療を取り巻く状況の大きな変化に対応するため、各周産期医療機関の機能に基づき、適切かつ迅速な転院搬送が行われるよう作成している「高知県母体・新生児搬送マニュアル」の改訂を行いました。また、早産予防に重点的に取り組むために、高知県独自の手引書「妊婦一般健康診査実施の手引き」を作成し、妊婦健診、妊婦管理の標準化を図りました。



○県産品PR等推進事業(6,500千円)

県内の優位性を持つ商品を募集し、消費者及び専門家による認知と評価を通じて、商品改良や開発、販路開拓の促進を図るとともに、事業を通じて県内の産品をPRすることを目的として、商品発掘コンクールを実施しました。

